

第 4 章 部 活 動

1 運 動

陸上競技
ラグビー
野 球
テ ニ ス (男子)
テ ニ ス (女子)
男子バレーボール
女子バレーボール
男子バスケットボール
サッカー
卓 球
アーチェリー
弓 道
水 泳
柔 道
剣 道
山 岳
ボクシング

2 文 化

ギ タ ー
美 術
理科学研究
写 真
演 劇
文 芸
吹 奏 楽
囲碁・将棋
手芸・調理
ビデオ研究
華 道
茶 道
琴
漫 画

3 生 産

情報処理
環境化学
デザイン
機械研究
建築研究
電気研究
知的制御研究
土木研究
理数研究部

1 運動

《陸上競技》

浜工陸上部は、浜工開校以来の歴史と伝統ある部です。

練習環境に恵まれており、400mトラック・跳躍・投擲練習場などの素晴らしい設備の下、全国大会に出場する先輩に続けと全国大会入賞を目指し、練習に励んでいます。そして、私たちは部活動を通じて、競技力だけではなく、人としても成長していくことを目指しています。

静岡県西部新人大会男子総合優勝 (H.29)
静岡県新人大会男子総合2位 (H.29)



《ラグビー》

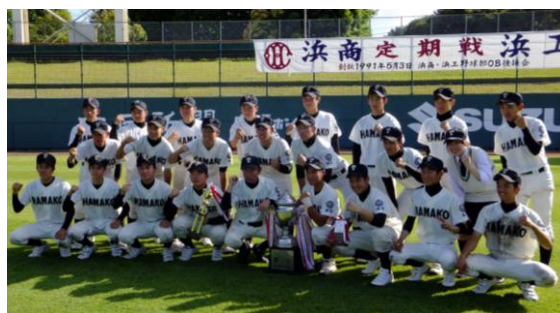
ラグビー部は全国大会を目指し、毎日の練習を頑張っています。平成11年、12年、23年、25年、28年に全国大会出場を果たしました。

ラグビーは高校に入学してから一斉にスタートするスポーツです。努力次第で上達もし、活躍することもできます。



《野 球》

甲子園出場は、春3回夏2回の計5回です。
(昭和43年春選抜・平成6年選手権・平成8年選抜・平成9年選抜・平成9年選手権)
野球部は野球大好き人間の集まりです。野球の技術とともに人間力の向上を目指します。『自律できる人間になること』、そして、甲子園に出場し全国優勝をすることが目標です。



《テニス(男子)》

現在まで、全国大会へ多くの選手を送り出し、県内で常にトップクラスの活躍をしています。テニスが好きで上手になりたいという生徒にとっては最高の環境を備えています。また、毎年スポーツ推薦で若干名の者が大学へ進学して活躍しています。



《テニス(女子)》

数少ない女子部活の一つであり、県大会出場を目指して週6回活動しています。部員の半数が高校からテニスをやり始めており、初心者でも楽しく活動しています。高校生活をどんな部活で過ごすかは、あなた次第です。

楽しく明るく、時にはきつく悔しい経験もある女子テニス部で最高の仲間とともに新しい自分を探してみませんか。



《男子バレーボール》

平成15年度の全国高校総体に、創部50年にして初めて出場することができました。

先輩たちが築いてくれた伝統を守ることができるように努力しています。全国大会に出場できるチャンスがあると思うので、精一杯頑張りたいと思います。

《女子バレーボール》

女子バレーボール部は、女子部活動の振興のために平成4年に誕生した部です。毎日、部員全員で一生懸命に活動をしています。

高校からバレーを始めた初心者も多くいますが、県大会出場を目標に、全員で「楽しく・厳しく」毎日活動しています。

《バスケットボール》

我がバスケットボール部は、恵まれた環境でまずは県大会3位を目標に、主将・マネージャー以下全員一丸となり、日々練習に励んでいます。新たな歴史を刻むことができるように心身共に精進します。

《サッカー》

私たち浜工サッカー部には、日々活動ができる専用グラウンドがあるなど、とても恵まれた環境があります。

この恵まれた環境に感謝し、真面目にひたむきに学校生活と部活動に取り組み、「県大会ベスト8」という目標を達成しようと努力しています。



《卓球》

卓球部では、個人の技術はもちろん、チーム全体の雰囲気と技術のレベルアップを目標に頑張っています。男女を問わず、各個人がチームに貢献しようという気持ちで厳しい練習に取り組んでいます。各種大会にも参加し、常に上位をねらっています。

《アーチェリー》

「一射集中」アーチェリーは1本1本の積み重ねが勝敗を大きく左右します。全国制覇を目標に日々練習をしています。アーチェリー競技は個人競技であり、高校から始める者がほとんどですから、スタートラインは皆横一線、自分の努力次第で日本代表選手も夢ではありません。



《弓 道》

弓道の理想理念を「真・善・美」という言葉で表すことがあります。「真」とは正しい形の追求・真実の探求。「善」は礼儀・平常心・反省などの倫理。「美」は調和の美・完成美を意味します。



弓を引いているとき、的は動きません。直接対決もありませんから、相手を惑わす作戦も必要ありません。従って、的にあたらぬ原因はすべて自分にあると反省し、原因や対策を探究しながら黙々と稽古を続けるのです。

こうした潔さ・謙虚さ・探求心や向上心が弓道の上達には欠かせません。日常生活すべてが弓道の稽古の場ともいえます。

このように的にあてることも大事ですが、それと同時に心も鍛えようと取り組んでいるのが我々弓道部なのです。



《水 泳》

県大会を目指す者、自己記録更新に挑戦する者、泳ぎを楽しむ者と、水泳への関わり方は様々です。部員個々が目標・目的を持って自主的に活動しています。

《柔 道》

本校柔道部は過去に団体で県優勝、個人で総体・国体に多くの選手を輩出している伝統ある部です。「強く、正しく、たくましく」をモットーに、日々、練習やトレーニングに励んでいます。「凡事徹底」を浸透させ、日常生活を大切に過ごしていくように心掛けていきます。



《剣 道》

今やガッツポーズは勝利の喜びを表現する定番です。そして、スポーツにおける最高の華です。しかし、剣道ではそれを絶対に許しません。

剣道は稽古相手がなくては上達できず、お互いが真面目に一生懸命に取り組まなければ成立しません。誠心誠意、全力で闘った相手に対して拳を突きつけ、勝ちを誇示する事は極めて「失礼」だと考えます。

剣道には古来日本人が持っていた素晴らしい美徳が生きています。

本校剣道部ではこういう事を大切にして、日々稽古をしています。



《山 岳》

週2日程度の基礎体力作りトレーニングと、毎月1回、県内外の山に登っています。夏休みは日帰りで富士



山、2泊3日程度で北アルプス夏山合宿を行っています。

運動部一筋ではなく、勉強と運動の両立をしたい人、自然が大好きな人、遠くへ旅行に行きたい人にとって最適の部です。

《ボクシング》

文武両道の精神の基、一人ひとりが目標と情熱をもち、礼儀を大切に日々励んでいます。また、競技の出会いを通して自信、責任、情熱、創造、決断等を得て共に高め合う仲間づくりをし、成長達成感を持たせています。

主な大会は、4月春季大会、5月県総体、6月東海総体、7月国体予選県大会、8月全国総体、国体東海ブロック大会、10月国民体育大会、秋季大会、県新人大会、12月東海新人大会、全日本女子、3月全国選抜大会です。

【男子】

◇全国高校総体（13年連続出場）

- 準優勝 1回
- 3位 4回
- ◇全国高校選抜大会
- 3位 1回
- ◇国民体育大会
- 準優勝 2回
- 【女子】
- ◇全国高校選抜大会
- 優勝 1回
- 3位 1回
- ◇全日本女子選手権
- 優勝 2回
- 3位 1回
- 演技2階級優勝

2 文 化

《ギター》

音楽好きの生徒が集まって、ジャンルを問わず、ギター・ベース・ドラム、歌の練習をしています。月1回の学校内定例発表会、浜工祭でのライブが主な活動です。初心者から経験者まで30人以上が在籍しています。年々機材も充実してきて、活動の場が広がってきました。また、校外で演奏する機会も増えてきました。

活動目標は、「人前で演奏して感動を味わう」ことです。「自己満足の域を脱して、聞く人に感じてもらうこと」を目指して頑張っています。音楽は聴くだけよりも、演奏する方が何倍も楽しいことが実感できます。

《美 術》

デッサンを通した基礎的な技術の習得。それをもとに油彩・水彩画等の作品を制作。夏休みからは、秋に開催される静岡県高等学校美術工芸展に出品するための大作を制作。文化祭では、これら作品展示の他にビッグアートや趣向を凝らした催し物で来場された方々に楽しんでいただいています。その他、毎年

各種のコンクールに入賞して実績を上げています。

《理科学研究》

理科の授業や生活で疑問に思ったことを取り上げ、実験や観察を繰り返しながら問題を解決していこうという目的で活動しています。今年は「パスタブリッジ」を作成します。デザイン、耐荷重等を設計の段階から考え、橋の特性について、探求します。また自分でテーマを決め、探究活動を行うこともできます。週2回と少ない活動時間の中で、計画的に探究活動を行うので、勉強等との両立もしっかりとできます。

《写 真》

主な活動は、年3回開催される西部高校写真連盟主催の撮影会・コンクールへの参加と、浜工祭での写真部展です。今年度の撮影会では、明治村・横浜・鎌倉（一泊）、東山動物園などに行く予定です。浜工祭では、全部員の自信作を展示し、来場者に投票をしていただく形のコンテストを計画しています。活動自体はマイペースですが、他にも自治体や企業、各種団体の開催するコンテストへの応募を積極的に行っており、西部高写連コンクールでの入賞をはじめ、数多くの実績もあげています。

現在、ほぼ完全にデジタルカメラでの撮影となり、伝統ある暗室作業の引き継ぎも難しくなってきました。その影響もあり、活動のあり方も変化しつつありますが、わきあいあいと、浜工生らしい作品を制作していけたら良いと思います。

《演 劇》

演劇部は、発声・筋力トレーニング、舞台演技の練習を中心に、平日の放課後活動しています。発表会は、夏の演劇フェスティバル、秋の浜工祭と、県西部演劇協議会の舞台があ

ります。台本の創作を精力的に行うなど、部員たちによる作品作りを楽しみながら活動しています。今後も表現する力を高め、自分を生きる楽しさを味わっていけるよう取り組んでいきます。

《文 芸》

金曜日、本校の図書館で活動しています。各自の作品の創作と、その合評会が主です。年間活動は、浜工祭での展示・部誌「天領巾（あまひれ）」の発行が中心です。その他にも「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」、「浜松市民文芸」への出品など、地道に活動を続けています。

《吹 奏 楽》

吹奏楽部は、長い歴史と伝統を持ち、コンサートやマーチングなど、幅広く活動しています。今年度は、指導体制を刷新し、お客様に楽しんでいただける演奏ができるよう日々練習に励んでいます。

部員には初心者も多く、運動部や文化部と様々な部活に入っていた人達が集まるので、部員達は皆、個性豊かです。

私たちは音楽を通してみなさんと感動を共有し、自らも楽しめるような演奏を目指しています。



◇主な活動

グリーンコンサート
プロムナードコンサート
定期演奏会
吹奏楽コンクール
アンサンブルコンテスト

《囲碁・将棋》

将棋部門

週3日の活動で、自由対局、棋譜の分析、定石研究等を行っています。昨年5月の大会においては、団体戦、個人戦予選敗退でした。

今後基本手筋習得に力を入れ、次期大会では、団体戦、個人戦、ともに県大会出場を目指します。

囲碁部門

平安時代から知的な競技として愛好者の多い囲碁は、その起源は遠くインドにさかのぼることができ、近年では世界中に普及して、愛碁家は一千万人とも言われています。

高校時代は頭脳が柔軟ですから上達も早く、豊かで奥深い世界へ入っていくことができます。昨今インターネットが普及したことやパソコンソフトが強くなったことで、上達するのが早くなり、オンラインで色々な人と碁を打つことができます。

《手芸・調理》

「一手間かけ生活を楽しもう」をテーマに、編み物やぬいぐるみ等の手芸小物の個人製作や、共同制作に取り組んでいます。

月に1回行っている調理実習では、部員が相談して決めたレシピをもとに、焼き菓子や軽食などを作り技術を磨いています。成果は浜工祭で披露する予定です。

《ビデオ研究》

主な活動は、学校活動のビデオ記録です。運動会でのゴールビデオ判定なども行っています。映像の世界もデジタル化が進み、編集はほぼ全てパソコンです。カメラやパソコンの機材は十分とは言えませんが、一通り揃っています。放送室の小部屋の中、男子13人女子2人の15人で活動しています。

《華 道》

池坊の先生の指導のもとで、生け花（盛花、小品）の基本を身につけます。一人一人きめ細やかな指導を受けられるので、初心者でも美しい花を生けることができます。3年間継続して稽古すれば免状取得ができます。

《茶 道》

裏千家の先生の指導のもと、週一回稽古を行っています。

夏休みには二日間学校で集中稽古を行い、ぼんりやくてまえ 盆路点前やふうろうすぢやてまえ 風炉薄茶点前などの茶道の心得を深めます。浜工祭では、御茶会を開いてお点前を披露します。対外的な活動としては、9月に浜松市のしょういんてい 松韻亭で開かれる学校茶道連絡協議会主催の合同御茶会に参加します。

《 琴 》

琴という楽器は奈良時代の人々が作ったものですが、21世紀の現代人にも愛され、私達の心に優しさや潤いを与えてくれます。師範の先生の指導のもと、部員全員が、常にチャレンジ精神を抱き、真剣に練習に取り組んでいます。和音の美しい響きをもつ伝統的な曲だけでなく、現代的な曲の合奏も楽しんで演奏しています。老人ホーム等への慰問もあり、集中力と優しい心、そして素晴らしいマナーが身につきます。



《漫 画》

漫画部ではイラスト、漫画などの技術を学び、その作成を行っています。これらを通して、現代のサブカルチャーを、担う側の力を育成しています。

また、高校生活に潤いとユーモアをもち、心にゆとりのある生活を送れるようにしています。

3 生 産

《情報処理》

日々コンピュータのエキスパートを目指して活動しています。各種プログラミング競技大会への参加や、各自が設定したテーマに基づく Android アプリをはじめとするソフトウェア作品の製作などが、活動の中心です。これらの成果は、「努力の跡」という部誌（Web）にまとめています。この部誌の^{へんさん}編纂と、上級生による新入生へのプログラミング指導は、昭和48年の創部以来続く、部の伝統になっています。

パソコン甲子園や情報オリンピックをはじめとするプログラミング競技大会では、毎年全国大会への出場を果たし、優秀な成績を修めています。



また、情報に関する各種資格試験に挑戦したり、部独自のプログラミングコンテストなども実施しています。

◇パソコン甲子園

(プログラミング部門)

14年連続本選（全国大会）出場
優勝1回、3位2回、4,5,6位 各1回

(モバイル部門)

過去4回本選（全国大会）出場

H25年度ベストアイデア賞（3位相当）

◇Supercomputing Contest

8年連続本選（全国大会）出場

H29年度 準優勝、8位

H28年度 5位、16位

H27年度 6位、10位

◇日本情報オリンピック

12年連続本選（国際情報オリンピック
日本代表候補選考会）出場

過去のべ8名が、国際情報オリンピック
日本代表選考合宿メンバー入り（H29
年度1名、H26～19年度計7名）

◇アジア太平洋情報オリンピック

第9回大会(2015年) 銅メダル 1名

第6回大会(2012年) 銅メダル 1名

◇Sangi Award IT 競技会

(プログラミング部門)

5年連続（のべ8回）優勝

《環境化学》

これまでの活動内容としては、ものづくり競技大会の化学分析競技の練習を行い、知識や実験技術を身につけてきました。浜工祭には UV 硬化レジン・ビスマスの人工結晶作り・ガラス細工（トンボ玉）等の作品の制作を行っています。今年度も全国高校生化学グランプリに参加をする予定です。

《デザイン》

造形行為は自分を表現する一つの手段であり人間性豊かな活動です。シルクスクリーン印刷、七宝焼き、小物細工の手作りを楽しむ生活デザインをテーマに制作活動をしています。各個人表現が違うので個性あふれる作品がそろいます。これらの作品を浜工祭で発

表すると共に、シルクスクリーン印刷の実演を行っています。

通常活動とは別に、デッサンや平面構成など集中的に学ぶ班もあり、授業よりも時間をかけて取り組むことができます。

《機械研究》

私たち機械研究部では、エコランカーの製作や検定取得・ものづくり競技大会に取り組んでいます。

エコランカーでは豊橋大会や静岡県大会で良い結果が出るように日々取り組んでいます。

また、技能検定では、旋盤・機械検査・フライス盤・CADなどに挑戦し、多くの部員が複数の種目に合格して技能士になりました。

静岡県ものづくり競技大会では、CAD部門においてM3の木下君が優勝、フライス盤部門においてM3の河合君が準優勝して全国大会に出場します。旋盤の部や溶接の部は、全国大会にはいけませんでした。浜松工業のレベルの高さを示すことができました。

今年もより良い結果が残せるよう腕を磨きます。



《建築研究》

建築を通し、人間性を磨いています。

活動は、各種コンテスト（コンペ）への応募作品、建築模型、木材加工を主軸に制作・

研究をしています。さらに技能検定などの資格取得にも力を入れています。その上で、ものづくり競技大会への参加も行っています。

◇高校生ものづくり・ことづくり

プランコンテスト2017 特別賞

◇第9回わたしの住まい

リフォーム・デザイン案コンテスト
アイデア部門 優秀賞

◇第6回静岡県ものづくり競技大会
木材加工部門第3位

《電気研究》

電気研究部は資格取得や学力向上を目的として活動しています。

活動時間は朝や放課後、休日を利用しています。

資格は主に第3種電気主任技術者の合格を目標に頑張っています。

《知的制御研究》

私たちの部活では、よりよいロボットの開発を目指して頑張っています。

研究対象は人型2足歩行ロボットやトレースロボット等で最終的には全てのロボットを自律型ロボット（自分で考え行動するロボット）で実現するために3次元CADやCG、3次元解析ソフトを使って日々研究開発に頑張っています。

《土木研究》

最新の土木技術を文献やビデオ等の資料により研究をします。

また、建物の高さ、敷地の広さなどを、測量機器を使って測量して技術を身につけます。ほかに、I桁橋模型、トラス橋模型、プレートガーダー橋模型の製作なども行っています。

《理数研究》

1 学期の活動は、3～5人で1チームを組み、レゴマインドストーム EV3 などのロボットを操作しています。操作はパソコンでのプログラミングにより行い、ロボットが複雑な動きできるように、生徒一人ひとりが工夫してプログラムを考えています。2 学期からの活動は、数学検定に向けての学習を行います。準 2 級合格を目指します。